

【広聴・広報】

118．CATV、電子メール等を利用した広報について

Q：自治会配布物が多過ぎます。ケーブルテレビ、電子メールを活用すれば配布物も減るのではないですか。

A：既に文字放送やホームページでも実施していますが、インターネット接続環境のない世帯やケーブルテレビ未接続世帯があるため、情報伝達を完全に電子化するのは難しい状況です。配布物削減に向け、努力していきます。(内田副市長)

119．市から提供される話題について

Q：市の財政状況が悪く、執行部も大変ではないかと察します。そうした折にこそ、「先日市の中でこんないいことがありました」など明るい話題を提供してほしいです。物はなくても心は豊かなようになりたいものです。

A：確かに寂しい話ばかりで、他の会場でも「厳しい」という言葉は使わないでほしいといわれました。「幸運なんです。雲南です」をキーワードにブランド化プロジェクトの取り組みを開始しています。その中で、雲南市の良さや誇りを醸成していきます。(影山副市長)

120．市からの配布物について

Q：自治会配布物にカラー印刷が多く見られます。節約できるのではないですか。

A：市報も以前はカラー印刷でしたが、経費節減のため2色刷りにしています。関係部署でも、配布物のカラー印刷を控え、経費節減に努めます。(内田副市長)

121．市からの配布物について

Q：広報等の紙質が良いし、全戸配布の文章が非常に多いです。経費削減のためにも、ごみの削減のためにも、回覧で済ませた方がいいと思います。どうしても欲しいというかは、地域の公民館などに取りに行くようにすれば良いのではないのでしょうか。

A：貴重なご意見をいただきました。今後検討していきます。(内田副市長)

122．市政懇談会の開催について

Q：前に大勢並んでおられて話しづらいです。思っていることが自由に言えないので、もう少し少ない人数で集会を開かれてはどうですか。

A：市となり、規模が大きくなったため、現在の状況になりました。ご理解ください。(総合センター)

地域(小グループ)で市長と懇談する「まちづくり懇談会」を必要に応じ開催することができます。開催の要望があれば、総合センターの方へ申し出てください。(内田副市長)

1 2 3 . 市政懇談会の開催について

Q：市政懇談会は夜に開催していただきたい。

A：市全体で33会場を周ります。夜だけでは日程を消化できず、やむを得ず、昼にも行っています。今後、開催に当たり、検討・考慮します。(市長)

1 2 4 . 市政懇談会の開催について

Q：懇談会は地域自主組織が主催してはどうでしょうか。住民が意見を述べる時間が限られており、大半が、市からの一方的な説明ばかりです。

A：市側の説明の仕方については長くならないよう気をつけます。懇談会の主催については、今後の参考とさせていただきます。(市長)

1 2 5 . 市政懇談会の開催について

Q：次回の懇談会はいつありますか。

A：市政懇談会は年1回の開催で、例年通りであれば、5月から6月ごろ開催する予定です。懇談会とは別に、小規模な地域グループと対話する「まちづくり懇談会」も開催できます。要望があれば、総合センターの方へ申し出てください。(市長)

1 2 6 . 市政懇談会の日程について

Q：小学校の運動会などイベントが重なっていることがあります。開催に際しては、情報収集をして日程に配慮してほしいです。

A：今後調整を図り、日程を決定します。(市長)